

Shine!

津幡南中学校長 田中 宏志
2年学年主任 村上 直哉

仲間のよさを実感！ たがいを認め合い過ごした1日

5月16日(木)に学年でのレクリエーションが行われました。テーマは「仲間づくりと絆を深める」でした。

【3限目】仲間づくりエンカウンター

大間先生・茶谷先生の総合司会で5つのエンカウンターが行われました。思考を鍛えるエクササイズから、反応を鍛えるエクササイズ、グループで力を合わせて目的を達成するものなど、工夫を凝らした取り組みで子供たちからも歓声が上がっていました。学級の枠を超えて、学年での親睦を深めることができた1時間でした。



【4限目】学年プログラム委員会主催「クラス対抗大縄跳び大会」

続いて行われたのは、**クラスの絆をさらに深める「大縄跳び」**でした。体育の時間に1時間だけ練習を行い、本番に臨みました。クラス全員で跳ぶこの競技は、気持ちを一つにすることがうまくいく秘訣とあって、10分間の練習時間では、それぞれのクラスで担任の先生を中心に、熱心に練習する姿が見られました。しかし、なかなか思うように回数が伸びず、苦勞する場面もありました。本番は4分間を2回行い、連続で跳べたベスト回数を競いました。本番前に円陣を組んで心を一に、気合を入れるクラスもありました。本番では、練習では跳べなかった回数を更新するクラスが多くあり、その不思議な瞬間に興奮しながら跳び続け、跳び終わった後に大歓声が上がっていました。誰ひとりとして、相手を責めることなく、たがいを認めあい、励まし合う姿が見られてとても微笑ましかったです。結果は、優勝が3組(11回)、準優勝は2組(8回)でした。



【6 限目】学年プログラム委員から報告

学年集会が行われ、各クラスの会長・副会長から抱負が述べられました。それぞれがクラスをよくしようと課題を洗い出し、具体的な取り組みが紹介されました。また、学年目標である「たがいを認め合う～協力・礼儀・思いやり～」がみんなの前で初めて披露されました。プログラム委員長の荻野優月さんが、「今年は、みんなで協力する心をさらに大切にしたい。そして、一人一人をリスペクトし、礼儀をわきまえた行動がとれる学年集団になりたい。」と熱弁しました。

また、先日行われたプログラム委員会では、最近の学校生活の様子が話題となりました。そこで、他教室への出入りが見られること、また教室の出入り口で集まっている場面があり、教室への出入りがしにくいなどの意見が出されました。そこで、5月の具体的な学年の取り組みとして「教室の出入り口でたむろしない」という案が出ました。みんなが過ごしやすい学校生活を目指して、意識して取り組んでほしいと思います。

学年目標 決定

「たがいを認め合う～協力・礼儀・思いやり～」